

# 個人情報保護法のポイントコース〈令和2年、3年改正法対応〉

「**個人の権利・利益の保護**」と「**個人情報の利用・活用**」に関する内容を中心に  
「**個人情報**」を取り扱ううえで理解しておくべきことを学びます。

顧客の個人情報や従業員の個人情報など、日々の業務のなかで個人情報を取り扱う場面が多くあるなか、プライバシーに配慮したうえで個人情報を安全に取り扱うことが求められています。本コースでは、個人情報の適切な管理と活用、漏えいなどのリスクに備えた対応がとれるようになることを目指します。



## 〈本コースのねらい〉

- 「要配慮個人情報」、「匿名加工情報」、「仮名加工情報」、「個人関連情報」、「第三者提供時の確認記録義務」など個人情報保護法のポイントを中心に、従業員が理解しておくべき内容を学びます。
- 実務に即して、個人情報保護法のポイントを個人情報の取り扱いの場面ごとに学びます。

## 〈カリキュラム〉

<b>第1章</b> 個人情報保護法の キーワード	1-1 個人情報の保護と活用 ※ 1-2 個人情報の定義① 個人識別符号 ※ 1-3 個人情報の定義② 要配慮個人情報 ※ 1-4 個人情報取扱事業者の条件 ※
<b>第2章</b> 個人情報取り扱いの ルール	2-1 基本義務「利用目的の特定、利用目的範囲内の取り扱い」 ※ 2-2 個人情報を取得するとき「利用目的の特定、利用目的の通知・公表」 ※ 2-3 個人情報を管理するとき「正確性の維持とデータの消去」 ※ 2-4 個人情報を他人に渡すとき「第三者提供」① ※ 2-5 個人情報を他人に渡すとき「第三者提供」② ※ 2-6 本人からの請求への対応 ※ 2-7 罰則「個人情報データベース等不正提供罪」 ※ 2-8 ビッグデータ時代への対応「匿名加工情報・仮名加工情報」 ※ 2-9 漏えい時の対応 ※

## 〈概要〉

受講対象者	● ビジネスパーソン全般
監修	● 本井 克樹 本井総合法律事務所 弁護士
仕様	● 想定学習時間：1時間 ● 最短実行時間：33分 ● テスト数：1（全10問、ランダム出題）

※ 令和2年、3年の法改正にともない、改訂を行った項目です。  
改訂内容については次ページをご参照ください。